

地元活性化探究プロジェクト

～Explore our local community and ourselves～

第1回「探究サロン」が行われました。

「探究サロン」とは、様々な分野で活躍する社会人、卒業生、大学生を講師として招き、生徒が自身の生き方や将来の職業選択についての意識を高める機会を提供します！放課後定期的に開催いたします。

記念すべき今年度第1回は「現役大学生と話そう～海外経験から得たこと～」をテーマとし、【#海外生活#旅行#防災#ボランティア#やりたいことがみつからない】という分野で募集したところ、全学年で40人が参加しました。

南山大学3年生の熊澤萌里さん。中津高校在学時には旭陵留学（本校同窓会独自の留学制度）で渡米。大学2年次には「世界青年の船」にて世界中の青年と交流。今年に入りインターンシップでルワンダにて活動。今まで訪問した国は20ヶ国以上。



今回の講師を紹介します！

名城大学4年生の小池知也さん。本校在学中は野球部で汗を流す傍ら防災士の資格を取得。地域での防災リーダーとして幅広く活躍しています。大学進学後は国際ボランティアに熱中。カンボジアに学校を建設する活動を継続して行ってきました。防災士のほか、「象使い」の資格もタイで取得したとか



講義中、生徒からの質問に即座に対応できるよう「Question Box」を設置。60以上にわたる質問があったとか。



大学では、国際ボランティアや海外インターンシップに関する情報がたくさん提供されるという内容が、興味ある生徒のモチベーションを更にアップさせました。

全員そろっての記念撮影



* 以下は参加生徒の感想より(原文のまま)

①今回の話で印象的だったことは？

- みんな同じ人間と思えば行ったことがない所に行っても怖くないということ
- 海外の人との関わり方とかおすすめの勉強法とか深く知れたので良かったです！
- ボランティアでも海外に行けるって言うこと
- 海外はそんな緊張しなくてもよくてたくさんの出会いがあること。結構安く行けること。
- 自分から見つければ、海外へ行く機会がすごくたくさんあること。
- インターンとかボランティアとかでも海外に行って色々な経験ができるんだなと思いました。
- 私の人生まだ遅くないと思うのでたくさん努力してお二人みたいになれるように頑張ります。
- 今ちょうどルワンダの事を、授業で習ってて、紛争がすごい地域ってイメージだったけど、もえりさんはすごい良かったって言ってて、やっぱり自分が行ってみたいとわかないことがあるんだなって感じたし、ルワンダとかカンボジアにすごい行きたくなりました！

②今回の話を聞いて、今の自分に足りていないこと、必要だと思うことは何ですか。

- 英語の力と、コミュニケーション能力だと思います。
- 海外についての知識が全然ないなと感じたので少しでも知れるように勉強をしていきたいです。
- 学ぼうとする意欲と積極的に行動する力
- 自分は言葉が違うひとと喋る勇気がないと思うので、ちゃんと勇気を出すこと、コミュニケーション能力、文章構成能力が必要であると思いました。
- 英語力。二人の英語の会話をきいてもっと頑張らなければいけないなと思いました。
- せっかくビッキー（ALT）と同じ掃除場所になったのでこれからたくさん話していきたいです。
- ボディーコミュニケーションや、目標をもって行動すること
- 勉強量・自分のしたいことを見つけること
- 行動に至るまでの勇気
- 世界で起きている事にもっと敏感になる。